

総合戦略調査等特別委員会の調査報告

総合戦略調査等特別委員会に付託されました「地方人口ビジョン及び地方版総合戦略の調査等について」は、平成27年6月24日に本委員会を設置して以来、6回の委員会開催と3回にわたる関係団体からの意見聴取を行いました。この間、委員会には、市の担当者から、滝川市人口ビジョンおよび総合戦略策定にかかわる事項について、説明を受け、質疑を行うとともに、委員間で意見交換をし、真摯な調査を実施してきたところで

す。また、雇用創出、地方への人の流れ、結婚・出産・子育ての観点から、現地に赴き、親子ひろば「とんとん」を利用しているお母さんたち、江戸乙商工会の役員、青年部、女性部の皆さん、そして、滝川商工会議所の正副会長を含めた役員の皆さんから、地方創生を進めていくうえで、の貴重なご意見を伺い、地域の実情などの調査を実施しました。

市から本委員会に示された素案に対し、委員からは、「優良な中古住宅などの既存ストックを活用し

た子育て世帯の転入や転居に係る支援、取得した中古住宅の耐震改修支援のほかに、新築に対する支援も考えてはどうか。」という質疑に対し、「総合戦略の5年間でPDC A（計画・実行・評価・改善）による見直しを進めていく中で地方創生に資する住宅施策として、新築に対する検討も考えられる。」との市担当者から答弁がありました。また、「中空知管内でも、人手不足の企業が数多くあるようで、このままでは、企業の撤退も懸念される。仕事と人をマッチングさせること。また、外国人の就労支援について考えてはどうか。」という質疑に対し、「仕事の魅力発信と総合的な就業・移住支援を重点の一つとし、広域連携を図り、広域における企業や求人情報、ライフスタイル、レジャーなどの総合的な情報提供を進める。また、外国人の人材活用による地域産業支援事業において、地方創生特区の活用などを検討しつつ、人材の導入を進める。」との答弁がありました。

そのほか、各委員からの質疑な

どに対し、市の担当者から適切な説明、答弁をいただき、10月20日、第6回委員会において素案を了としたところです。

本委員会といたしましては、平成27年10月23日に「滝川市人口ビジョン」および「滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されたことから、本委員会の設置目的が果たされたとの認識に立ち、本委員会に付託された事件の調査を終了したものであります。

なお、今後において、総合戦略に関しては、必要が生じたときに所管の各常任委員会で随時報告をしてもらい、所管がまたがるなど、調整がつかないときは議会運営委員会において協議することと決定いたしました。

総合戦略調査等特別委員会は国の掲げる「地方創生」について議論をしてきました。今後は、策定された総合戦略を実践すること、さらに有効なアイデアを模索し続けることが私達の使命と考えています。

ご意見などをいただいた市民の皆さんに感謝申し上げ、委員会報告とさせていただきます。

常任委員会だより

経済建設常任委員会

平成27年10月12日から14日にかけて、佐賀県鹿島市、佐賀市、熊本県山鹿市、福岡県糸島市の行政視察を行いました。

■鹿島市「肥前めつけもん市」

「肥前めつけもん市」は、平成26年10月にオープンした直売所で、地元農産物をはじめ、6次産業化に取り組み生産者が作った農産加工品を中心に販売。一昨年からJAたきかわの直売所「菜の花館」のみかんの仕入れ先でもあり、滝川とのつながりもあります。6次産業化で一番大切な流通事業を別法人として立ち上げ、専門性を發揮しつつ、責任体制を構築しています。補助金ありきではなく、自身の力で取り組むチャレンジ精神に感銘を受けました。本市においても、このような事例が一つでも出て来ることに期待します。



▲肥前めつけもん市